

(別紙5)

補助事業番号 28-1-084  
補助事業名 平成28年度 親と子のふれあい交流活動 補助事業  
補助事業者名 公益社団法人 日本クラフトデザイン協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

子供達にモノ作り・クラフトデザインの素晴らしさを伝えると共に、素材がどこから来ているものなのか、そこにはどんな人達が関わっているのか等社会的側面も伝えていく。日本人の創意工夫で築いた高度で独自のクラフト文化を体感してもらう。将来、クラフトの従事者、または生活者として豊かな生活環境をそして成熟した文化を担っていく人材の育成に貢献する。また、家族間に共通の話題が生まれ、より質の高い交流が促進される。

(2) 実施内容

親子ふれあいワークショップの実施

( <http://www.craft.or.jp/home/oyako.html> )

- 「カンボジアのオーガニックコットンで作るミサンガ」  
平成28年8月12日（金） 会場：JXビル1F 3×3Lab Future
  
- 「アートな糸を作る」  
平成29年1月14日（土） 会場：ミッドタウンタワー5F  
インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター
  
- 第56回日本クラフト展に於いて写真・スライドショーによる広報展示  
平成29年1月7日（土）～15日（日）  
会場：東京ミッドタウン・デザインハブ  
第56回日本クラフト展会場

(別紙5)

事業実施体制：会員による実行委員会を組織した。

第1回実行委員会

平成28年 5月 9日(月) 今期のプログラムについて

第2回実行委員会

平成28年 7月 14日(木) 夏期WS準備

第3回実行委員会

平成28年 8月 8日(月) 夏期WS準備

第4回実行委員会

平成28年9月 14日(水) 冬期WSプログラムについて

第5回実行委員会

平成28年11月 18日(金) 冬期WS準備



夏期ワークショップ



冬期ワークショップ



広報展示

2 予想される事業実施効果

今年度のプログラム内容は素材を基本にしながらも、それらを取り巻く社会状況、あるいは材料の仕組みを学べるよう工夫した。この事業への参加をきっかけにクラフト作品のみならず国際社会へと視野を広げるきっかけとなしてほしい。

これまで派生事業として親子を対象したワークショップを複数回実施してきた。今年度は派生事業の実施はなかったものの、民間組織から打診があるなど、この事業の認知度が少しずつ広まっている。

今後も、本事業を基本にしたクラフト文化、ひいては日本の文化を将来の生活者である子供たちに伝えることができると考える。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<http://www.craft.or.jp/home/jka/h28workseika.pdf>

■夏期ワークショップテキスト



■募集チラシ



(別紙5)

### ■冬期ワークショップテキスト



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

<http://www.craft.or.jp/home/jka/h28workseika2.pdf>

### ■情報誌CRAFT DESIGN



(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人 日本クラフトデザイン協会  
(ニホンクラフトデザインキョウカイ)

住 所： 151-0051  
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-15 ストークメイジュ408号室

代 表 者： 理事長 岡本 昌子 (オカモト マサコ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局長 西川 雅典 (ニシカワ マサノリ)

電 話 番 号： 03-6455-5533

F A X： 03-6455-5534

E - m a i l： [info@craft.or.jp](mailto:info@craft.or.jp)

U R L： <http://www.craft.or.jp>